

うんよう じょうせきしゅう SRS カード運用- 定石集

1 1. 使う場面

- 同じ誤りを再発しており、短い想起単位へ圧縮して反復したい場面
- 英訳の採点と復習を接続し、答案を書いた後の修正を定着へ変換したい場面
- ポートフォリオで最多となったタグを翌週の重点として反復したい場面

2 2. 見分け方

カード種	表面に置くもの	裏面に置くもの	主に対処するタグ
Collocation カード	日本語表現または誤用例	自然な英語と不自然な理由	COL
Article カード	名詞句と文脈	a / the / Ø と判断理由	ART
Preposition カード	場面または時間関係	前置詞と核意味	PRP
Tense カード	時間線または日本語文	時制と先行性の説明	TNS
Register カード	場面 + 内容	会話 / 事務 / 学術の表現差	REG
Clause カード	日本語骨格または誤構文	主節 + 従属節の安定形	CLS

3 3. 使う公式

Display

カード化の最小単位

誤用 1 個 → 修正形 1 個 → 根拠 1 文

復習間隔

当日 → 1 日後 → 3 日後 → 7 日後 → 14 日後 → 30 日後 → 60 日後

4 4. 解き方の手順

1. 答案または診断ミニテストから、主要タグの誤用を 1 件 抽出 する
2. 誤用をそのまま表面に置くか、日本語条件へ言換えるかを決定する
3. 裏面には修正形だけでなく、理由を 1 文で添える
4. 同型の誤用が 3 件 以上ある場合は、個別カードでなく 抽象 カードへ統合する
5. 週末に最多タグのカードだけを 抽出 し、次週の重点束として再編する

5 5. 判別と注意点

5.1 個別カードと抽象カードを分ける

- is reviewed good → has good reviews のような固定誤用は個別カードで保持する
- 「評判を述べるときは have good reviews を優先する」のような一般化が可能なら抽象カードへ移行する

5.2 誤用だけでなく理由を残す

表面と裏面を対にするだけでは、別場面へ転用しにくい。理由を1文で残すと、類題にも対応しやすくなる。

5.3 ジャンル差を混同しない

REG カードは、会話と事務、事務と学術の差を並列表記したほうが有効である。1種類の正答だけを覚えるのではなく、場面差として固定する。

6 6. 落とし穴

- 長文をそのままカードへ入れる：想起負荷が高すぎて続かない
- 修正形だけを丸暗記する：理由が残らず転用できない
- タグを付けずに蓄積する：最多タグの抽出ができず、ポートフォリオと接続できない
- 1週間ごとにカードを全面入替える：再発タグの追跡が途切れる

7 7. 関連リンク

→ [定石集](#) 誤りタグ体系 [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/誤りタグ体系-定石集/>

→ [定石集](#) 英訳ポートフォリオ運用 [reference](#) [english](#) [error-taxonomy](#)
<https://study.bem130.com/reference/english/error-taxonomy/英訳ポートフォリオ運用-定石集/>

→ [講義](#) 英語学習の運用設計 [lecture](#) [english](#) [overview](#)
<https://study.bem130.com/lecture/english/overview/英語学習の運用設計-講義/>

→ [問題演習](#) 自己採点と再翻訳 [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/自己採点と再翻訳-問題演習/>

→ [問題演習](#) 診断ミニテスト [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/診断ミニテスト-問題演習/>

→ [問題演習](#) ポートフォリオ更新ドリル [exercise](#) [english](#) [translation](#)
<https://study.bem130.com/exercise/english/translation/ポートフォリオ更新ドリル-問題演習/>